



# News Release

(別添)

2020年12月24日  
N I T E ( ナ イ ト )  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中 部 支 所

## 配線器具及び電源コード・電源プラグの事故 ～プラグ・コードの取り扱いに注意～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集した配線器具<sup>※1</sup> 及び電源コード・電源プラグの事故情報<sup>※2</sup> は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) では、2015年度～2019年度までの5年間に配線器具は、合計48件<sup>※3</sup>あり、そのうち31件 (65%) が火災に至っています。また、電源コード・電源プラグは、合計27件<sup>※3</sup>あり、そのうち19件 (70%) が火災に至っています。

(※1) テーブルタップ、延長コード、マルチタップ、コードリール及びコンセント。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。

(※3) 2020年10月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

### 1. 配線器具及び電源コード・電源プラグの製品事故の発生状況

#### (1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に配線器具の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 配線器具の「県別」及び「年度別」の事故発生件数 (単位: 件) <sup>※4</sup>

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2015年度	0	3 (2)	4 (1)	2 (2)	9 (5)
2016年度	1 (1)	5 (1)	2 (1)	1	9 (3)
2017年度	0	5 (5)	6 (4)	4 (4)	15 (13)
2018年度	4 (3)	1	2 (1)	2 (2)	9 (6)
2019年度	1 (1)	3 (2)	1	1 (1)	6 (4)
合計	6 (5)	17 (10)	15 (7)	10 (9)	48 (31)

(※4) ( )は火災件数。

表2に電源コード・電源プラグの製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表2 電源コード・電源プラグの「県別」及び「年度別」の事故発生件数（単位：件）※4

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2015 年度	4 (2)	5 (5)	1 (1)	0	10 (8)
2016 年度	2 (2)	4 (1)	0	0	6 (3)
2017 年度	0	1 (1)	0	1 (1)	2 (2)
2018 年度	1 (1)	3 (3)	0	0	4 (4)
2019 年度	1 (1)	2 (1)	2	0	5 (2)
合計	8 (6)	15 (11)	3 (1)	1 (1)	27 (19)

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表3に配線器具の製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表3 配線器具の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況※5		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	3 (1)	0	0	3 (1)
物的被害	拡大被害	6 (5)	10 (6)	12 (6)	9 (8)	37 (25)
	製品破損	0	3 (2)	3 (1)	1 (1)	7 (4)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		6 (5)	17 (10)	15 (7)	10 (9)	48 (31)

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表4に電源コード・電源プラグの製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表4 電源コード・電源プラグの「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 <sup>※5</sup>		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	1	1 (1)	0	0	2 (1)
物的被害	拡大被害	5 (5)	10 (8)	2 (1)	1 (1)	18 (15)
	製品破損	2 (1)	4 (2)	1	0	7 (3)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		8 (6)	15 (11)	3 (1)	1 (1)	27 (19)

## 2. 配線器具及び電源コード・電源プラグの製品事故の事故事例

### (1) 配線器具： 延長コードが扉に挟まれて焼損

2018年1月（三重県、40歳代・男性、拡大被害）

#### 【事故内容】

延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。

#### 【事故原因】

延長コードが扉に挟まれていたため、芯線が断線して短絡・スパークが生じて焼損したものと推定される。

### (2) 電源コード： 電源コードに過度な応力が加わって出火

2018年12月（三重県、10代・男性、拡大被害）

#### 【事故内容】

ヘアドライヤーを使用中、ヘアドライヤー及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故原因】

ヘアドライヤーは、電源コードに過度な応力が加わって断線、スパークして出火した、又は電気こたつの中で衣類の乾燥に使用したため、温風により衣服等の可燃物が過熱されて出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「電源コードを傷つけたり、ねじったりしない。」、「人の毛髪の乾燥や整髪以外の使用はしない。」旨、記載されている。

(3) 電源プラグ： 電源プラグの栓刃に過大な外力が加わって亀裂が発生、  
そのまま使用を継続して火災

2019年1月（愛知県、60代・男性、拡大被害）

【事故内容】

ヘアドライヤーを使用中、ヘアドライヤー及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

ヘアドライヤーは、電源プラグの栓刃に過大な外力が加わって亀裂が発生、進行し、接触不良が生じて異常発熱していたが、使用者が継続使用したため、焼損に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「電源プラグが傷んでいたり、熱いときは使用しない。火災や感電、ショート、やけどの原因になる。」旨、記載されている。

### 3. 配線器具及び電源コード・電源プラグの製品事故の実験映像等について

配線器具及び電源コード・電源プラグの製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

以上

**（本件に関するお問い合わせ先）**

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 宮川 七重

担当者：横田 勝、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515